

あなたが解決したい問題を一緒に考え、解決します！

私はプロテニスコーチの遠藤貴之と申します。テニスコーチ歴31年。

テニスコーチ資格はPTR（国際プロテニス登録協会）のプロフェッショナル（最上位資格）およびPTRジュニアデベロップメントプロフェッショナル（PTRジュニア指導最上位資格）を有しております。現在は神奈川県を中心に活動しております。

さて、そんな私がなぜ今の仕事をしているのか？を冒頭に少しお話しさせてください。

その後あなたの問題やお話を伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。

私は4人兄弟の一番上でいつも兄弟の面倒を見ておりました。小学生の時は友達と遊ぶ際に必ず弟がついてきました。今でも当時の友人に会うと「あの弟達は元気？」と聞かれるほど私の友人達の記憶には私と弟達がワンセットになっているくらい兄弟いつも一緒でした。と言うのも母が4人の育児、家事、新聞の集金のパート、内職を2つ、さらには祖母の介護と全てを一人で担うスーパーワンオペ生活だったので、当然の流れで私が兄弟の面倒を見るという役割だったのです。父は絵にかいたような昭和の亭主関白でした。母の家事手伝いなどをしている姿はほとんど見たことがありません。しかし、母から父への愚痴や悪口は一切聞いたことがありません。そしてそれどころか「わたし達が生活できているのはお父さんのおかげ」と子供達にいつも言い聞かせておりました。したがって私達は皆、父を尊敬しておりました。私が小学生の時にキャプテン翼と言うサッカーのアニメが流行って、主要スポーツメーカーのジャージ姿が当時の少年達のステイタスでした。周りの友人達が皆アディダスやスーパースターのジャージを着ていたのも、私も母に「PUMA プーマのジャージが欲しい！」とねだりましたが「うちはそんな高いジャージは買えない」と言われてへこみました。しかし、母は私を驚かせようとこっそりジャージを買ってくれて「ほら！欲しかったやつ！！」と母がテンション高く渡してくれたジャージは『PUUMA プウーマ』Uが一つ多くおまけにロゴマークのピューマに小さな羽が生えているしまつ。いわゆる偽物。きつとうちの家計に見合う価格だったのでしょうか。そしてなにより私が喜ぶと思い、めちゃくちゃ考えてくれたのでしょうか。しかし、小学生の私はそんな母の気持ちも知らずに「ふざけるな！こんな偽物！絶対着ないからな！！」と半泣きで抵抗しました。「そうなんだ・・・」と私に無理に押し付けることもなく落ち込む母の姿は今でも鮮明に覚えております。母が私達によく言っていたのは「うちはお金持ちではないけれどあなた達には何不自由なくやりたいことをやらせてあげたい」と言っておりました。実際に私達は習い事も「やりたい」と言えばやらせてもらえましたし、さらには「勉強しなさい！」などの強制されるような言葉は聞いたことがありませんでした。父の件やジャージの件も含めて【自分より相手を尊重する】と言うのが母のマインドでした。母にだってやりたいことがたくさんあったはずですし、言いたいことだってたくさんあったはずです。家計のやりくりもかなり大変だったと想像できます。親の想いや偉大さは、今自分も親になり、この歳になってリアルに感じますし、感謝しかありません。そんな母の背中を見て育った私は母の息子で本当に良かったと思っています。だからこそ私自身も誰かに「私と関わって良かった」と思ってもらえるように【自分より相手を尊重する】と言う母からの教えを胸に、何かで悩んでいる方々のお役に立ちたいと言う思いから、コーチングと言う仕事を通してその人の思いに寄り添える存在を目指して活動しております。

では次にあなたが抱えているテニスの問題とは何なのか？私も一緒に考えたいと思います。

ある生徒さんのお話しです。自分の通っているスクールでどうしても進級しなかったのでレッスン数を増やしたりお金と時間を投資しましたが願い叶わず。自分にはセンスが無いのだと諦めかけていたところに親の介護や仕事などが忙しくなってしまう、テニスの時間が取りづらくなり、そこへ振替レッスンが溜まってしまったことによりテニスの充実どころかテニスをやること自体や振替の消化自体が義務のようになってしまったとの

こと。結局最後はスクールを辞めることにしたそうですが、辞める旨をコーチへ伝えたところ進級を提案されスクールの退会を引き留められたそうです。その方は言うておられました「何のためにレッスンを頑張っていたのか・・・」。【結果】ばかりに重きをおいてしまうと【取り組んできた過程】を見失います。

もちろん結果は大切です。一つの成果ですから。結果よりも【取り組んできた過程】が充実していたのなら捉え方は違ったのかもしれませんが。相手の評価や裁量でどうにでもなるものに左右されてしまった結果、本来一番大切にしなければいけない『自分のテニス』を見失ってしまった。限られた自分の時間と予算でテニスを充実させるためにはどのような選択肢があったのか？そもそも自分がテニスをやる理由は何なのか？あなたにどんな問題があるにせよあなたのテニスが充実した楽しいものであってほしいと願います。なぜならばあなたがテニスをやる理由の一つは『豊かな人生を送るための一つのツール』だからです。

私は2年前に変形性膝関節症と言う膝の障害を抱えました。当時は歩くのも痛いくらい酷くて先生にテニスコーチの引退を勧められたほどです。しかし、そんな先生も私の話をよく聞いてくださり「どうしたいの？」「どうになりたいの？」など治療やリハビリの手段を考える前に私の仕事状況や希望などの想いを聞き出し、寄り添ってくれて、その想いに合った治療やリハビリを提案してくださいました。今ではコートを走れるくらいにまで回復しておりますが、無数にある問題解決策の中からその人に合った選択肢へ導くと言うことはこちら側が適切だと思う選択肢の前に一旦相手側のお話を聞いた上でその想いに寄り添うことが重要なのだと改めて実感しました。まさに母の教えの通り【自分より相手を尊重する】マインドが最重要だと言うことでした。

想像してみてください。あなたがもし命にかかわる外科手術をするようなことになったとします。その時の執刀医は誰でも良いですか？その分野に強い方が良いですか？診ている症例数、経験は豊富か？などが気になりますか？手術自体の執刀数、評判などが重要ですか？などなど・・・とても気になりませんか？自分の命や身体をあずける訳ですからね。細心の注意をはらって見極めるのだと思います。さて、話を変えます。時間は命です。あなたの貴重な時間は命です。自分のテニスを充実させるためのあなたの貴重な時間とお金を誰にあずけますか？テニスコーチを選ぶ際にはどのような基準で選びますか？どのようなコーチに寄り添ってほしいですか？何となく入会した先のスクールで今後も続けて行きますか？何となく良い人なのでOKですか？命をあずける執刀医は何となく良い人ならOKですか？医療の現場では執刀医を完全に自分の要望で選ぶことは難しいのかもしれませんが、しかし、テニスコーチはあなたの意志と行動で選ぶことはできるはずです。あなたの想いを共有してくれる共に豊かさを追求してくれるようなコーチとの出会いがあるのなら今のテニスがさらに充実した楽しいものになりますね！そうなることを切に願います。

ではまた私の詳しいプロフィールに戻ります。詳しく知りたい方は先へ進んで下さい。

私の指導理念はあなたへ答えではなく、物事に気づく『ヒント』を与えることです。

すなわち、あなた自身が物事を深く考えられるようになることを促します。

したがって、他のコーチよりも質問が多いかもしれません。なぜならば真の答えはあなた自身が持っているからです。あなた自身にその『気づく』能力が身につくと物事の捉え方が多面的になり、解決策の選択肢などが増えることで『自分なりの答え』が出せるようになります。それにより前向きなマインドが育ち、様々な場面で失敗のプロセスも『成功の基』と楽しめるようになり、挑戦できる自分を手に入れることができるようになります。さらにその先では成功体験が増えてくるので自信が持てるようになり人生が豊かになるのです。あなたにそれを『掴んでもらう』こと。それをお手伝いするのが私の使命です。テニスの上達とは少し話がズレたように思うかもしれませんが、実はこのプロセスがテニスの上達と繋がっていると私は考えているので、そこを理念としている訳です。

したがってそれを実現するには、あなたに合ったヒントの与え方や与えるタイミングなどを見極める能力とそれらを使い分ける膨大なヒントの量（パズルのピースのような物）を持ち合わせる必要があります。ただし、その使い方（指導法）については正直答えが無いので、常に様々なことに対してアンテナを張り自らが様々な情報や刺激を求め、勉強し続けなければそれらを伝えることはできないのだと考えております。そこで私は現在に至るまでの間、自身の知識や考え方を広げるために様々な分野で活躍しているコーチ達の門をたたきました。テニス強豪国の各テニス協会を代表するような、また特にジュニア育成に深く携わっているコーチ達（人材育成のプロフェッショナル達）のもとへ自ら足を運び、直接彼らの考え方や指導法に触れて学び、吸収してきました。それは各分野で活躍されているスペシャリスト達の思考回路や指導法、実践方法など、**現実的に結果を出している方々の視野、見識、知識や経験を勉強するため**でした。

その際、私自身が痛感しているのは、私自身の経験や考え方など所詮私の範囲でしかないということでした。だからこそ、自分の持っていない他者の考え方や取り組み、工夫などを上手に取り入れることが重要でした。自分の今まで持っていた価値観や捉え方を変えて新たなものを受け入れると言うことはとてもパワーが必要でした。また、時には変える程度では足りなくて刷新。今までのものを全て捨てて新しいものと差し替える大がかりな意識改革が必要な場合もありました。そんな時も常にチャレンジ精神を持ち、自分以外の新たな見識を深めることで自分自身の成長を促してきました。そのような**私自身が様々な見識に触れたことで成長してきた経験から、あなたにも自分の考え以外の意見に耳を傾け、受け入れる広い心を養ってもらい、他者を尊重し、人から学んだ力を上手く活用しつつ自らをプロデュースし、未来を切り開いて行ける人になって**いただきたいとの想いを込めて、日々の指導を心掛けております。

つまり『コーチとしての私の強み』は、豊富な人との関わりから導き出された彼ら世界で活躍するトップコーチ達が持ち合わせる共通のマインドや、それぞれのコーチが持つ個性、強み、思考などを必要に応じてカスタマイズしてお伝えできる点とそのアイデアをもとに実践してきた私自身の成功体験や考え方を併せてお伝えできる点にあります。すなわち各国の多様性に富んだコーチ達の取り組みや思考回路が裏付ける私のレッスンはあなたの新たな気づきを引き出して『新しい自分』と出会うお手伝いができるのです！

これら私の考えや想いを読んで頂いた上、『共感』して頂いた場合の私と貴方は考え方の周波数が合っている可能性が高いですね！目的を探したり、追及したり、本来そう言う『考えること』が好きなのだと思います。ぜひ一緒にテニスをやりましょう！一度レッスンにお越し下さい。新たな出会いを楽しみにしております！

以下は私が学び、研修した先であり、『現在の私を形成した代表的なコーチ達の経歴、滞在したアカデミー』などを羅列してご紹介いたします。ご参照下さい。（国別順不同）

・デニス・バンダーミーアコーチ【アメリカ】

P T R（国際プロテニス登録協会）の創設者であり、45年前に『段階的指導法（G L M）』をテニスの技術指導に取り入れ、テニスを取り巻く科学（スポーツ科学）の重要性を説き、日本はもとより世界のテニス指導界に新風を吹き込んだ。『国際テニス殿堂』入りを果たしたテニスコーチ界のレジェンド。

・中村豊コーチ【アメリカ】

I M Gアカデミーでフィジカルプログラムのディレクターを務め、錦織圭、M・シャラポワ、大坂なおみ、D・シャポバロフ選手などの専属トレーナーを歴任。

・ロバート・ディヴィスコーチ【アメリカ】

A T P ツアーコーチを務め、主にアジア圏においてジュニア期からプロへ移行する期間の選手達のサポートをナショナルコーチとして活躍されている。※A T P→男子プロテニス協会

・ダグ・マッカーディコーチ【アメリカ】

I T F 育成部門の主任を務め、160以上の国のテニス協会へのアドバイスや育成プログラムの導入コーチ教育、選手教育などを行い、世界的なテニスの発展に貢献した人物。※I T F→国際テニス連盟

・サドルブルックテニスアカデミー【アメリカ】

元ハリーホップマンテニスクャンプ。ピートサンプラス、松岡修造、アンディーロディックなどが当時拠点としたテニスアカデミー。現在もツアートッププロが拠点としている名門アカデミー。

・マテックス・デ・ヴァイルダーコーチ【ベルギー】

ベルギーテニス連盟にてタレントジュニア選手育成、ベルギーのコーチ教育を行い、常に技術を戦術的観点から指導を実施し、長期的な選手育成への包括的アプローチを提唱している。

日本テニス協公認S級エリートコーチ養成にもたずさわり、I T Fカンファレンスなどでも活躍。

・ダビッド・サンズ・リバスコーチ【スペイン】

スペインテニス協会コーチ教育・研究部門ディレクター。同協会タレント発掘プロジェクトメンバー
スペインナショナルオリンピック委員会ハイパフォーマンsspports学sports科学分野にて博士号取得。
スペインのプロ選手達が世界での実績を築いた長期育成プラン、トレーニング法などスペインに見る
トッププロ輩出の極意などを各地で指導している人物。

・シント・カサノバコーチ【スペイン】

上海のチャイナエリートテニスアカデミーのフィジカルチーフコーチとしてW T A選手やI T Fジュニア
ランキングNo.1をマークしたX u S h i l i n選手を含む中国ナショナル女子チームのメンバーの
フィジカル部門を指導されている人物。

・ピーターズミステニスアカデミー【オーストラリア】

・ピーター・スミスコーチ【オーストラリア】

T e n n i s A u s t r a l i a L E V E L 3 マスターコーチ（ツアープロの指導ができる数少ない
有資格者）元世界No. 1のレイトンヒューイトを指導。言わずと知れたオーストラリアのレジェンド。

・ルーク・スミスコーチ【オーストラリア】

元全米カレッジ単・複優勝。デビスカップ候補選手。ピーターズミステニスアカデミーヘッドコーチ。

・クリス・ケイチェルコーチ【オーストラリア】

元プロ選手最高位A T P単73位、複19位。オーストラリアテニス協会にて育成部門のマネージャー
を務め、元W T A 4位のエレナドキッチを育てたコーチ。育成部門の経験を活かして各地のコーチへ
育成におけるテニス指導の着眼点を指導している人物。

・コンラド・シンコーチ【オーストラリア】

Tennis Australia LEVEL 3 エリートハイパフォーマンスコーチを有し
(オーストラリアで最も高い位置にある資格) ATP、WTA のツアープレイヤー及びトップステージを
目指すジュニアを多数育成指導している人物。

・マーク・ソフォウリスコーチ【オーストラリア】

自らのプロ選手としてのキャリアを終えた後、コーチ業に従事。ATP、WTA ツアー選手だけでなく
多くのジュニア育成にも携わる。最新のデータ活用を得意分野にしながらオーストラリアテニス協会
ではコーチ教育にも携わっている人物。

・フヴォイエ・スマイッチコーチ【クロアチア】

クロアチアテニス協会 14 歳以下ナショナルチーム担当。ITF 14 歳以下男子ジュニアチームの
トラベリングコーチ。クロアチアオリンピック協会コーチ教育部門責任者。
ITF テニスディベロップメント部門ヨーロッパ担当責任者。
最新のテニスに順応できる選手育成について提唱。

・ジャンーフィリップ・フルーリアンコーチ【フランス】

プロテニスプレイヤーとして 15 年間活動。シングルス最高 37 位。全盛期にはボリスベッカー
ステファンエドバーク、アンドレアガシにも勝利しフランスのデ杯代表としても活躍した。
引退後はアメリカテニス協会ではトレーナーを務めるほか ITF の報道官や選手とのコミュニケーション
を担当、近年では自身がトッププレイヤーになるまでの成長過程の成功例を基に選手育成ツールの開発
も行っている。特にメンタルトレーニングの権威であるアルベルト・カステラーニ氏から受けたメンタル
指導を軸に結果が出せる選手育成をメンタルの側面から考案されている人物。

・マーク・バービエコーチ【フランス】

フランステニス協会 U-14・16 ジュニア強化育成部門にて指導されている人物で
現在のフランス男子プロの活躍をジュニア時代から支え、成功へ導いた実績を持つ。

・ミクロシュ・ホーノコーチ【ハンガリー】

2010～2014 年にハンガリーのデビスカップキャプテンを歴任。
ハンガリーのジュニアナショナルコーチとしてジュニアグランドスラムで活躍する選手を多く
育ててきた経歴があり、主にジュニア育成のスペシャリストとして活躍している。

・中山芳徳コーチ【日本】

日本テニス協会強化育成本部選手育成委員長。ナショナルジュニア女子ヘッドコーチ。JOC 専任コーチ。
ジュニアフェド杯代表監督としてジュニアフェド杯世界大会準優勝へ導いた経歴がある。
世界のエリートとの対戦を踏まえた計画的な選手強化を通して現場で培ったノウハウを広めている。

・山中夏雄コーチ【日本】

盛田テニスファンドの専属コーチとして渡米。現在は IMG アカデミーを拠点として錦織、内山
西岡、望月を ATP ツアー選手に導いた知将。弱肉強食の世界で戦い続けた少年達がどのように世界の
トップ選手に登りつめたのか、どういったことに取り組まなければいけないのかと言うノウハウを
持っている日本人で唯一のコーチ。最近注目の全豪 OP ジュニアで優勝した坂本怜のコーチ。

★これまでの私と関わってくれたコーチ仲間達

これまで私と関わってくれた各地の様々な個性を待ったコーチ仲間達に支えられ、学ばせて頂いたことで今があります。感謝の気持ちでいっぱいです。今後、恩返しができるように活動して行きます。

さらに私自身がテニスだけでなく『ビーチテニス』※1や『ウェーブストレッチ』※2など他の分野でも指導をしている関係でテニス以外の柔軟な視点を持ち併せているため、何か違う角度から物事をお伝えできる可能性もあります。

※1 ビーチテニス：砂の上で行う競技で、ビーチバレーとバドミントンを融合させたようなノーバウンドで打ち合うラケットスポーツです。ITF（国際テニス連盟）傘下で国際大会も開催される。砂上での身体的バランス感覚やボレー、スマッシュの技術向上などテニス選手には必要な要素がたくさん入っているのでチャレンジされることをお勧めします！

・私は日本ビーチテニス連盟認定の指導資格を有しております。

※2 ウェーブストレッチ：ウェーブストレッチリングと言う道具を使って様々なボディーケアやトレーニングができます。怪我をしない体の使い方やケアなどは日頃から習慣にしておく必要があると思います。そういったことに役立ちます。

・私は日本ウェーブストレッチ協会認定の指導資格を有しております。

《指導させて頂いた生徒さん達の実績》

全日本ジュニア3位／インターハイ個人、団体出場／インカレ出場／女子連ブロックシングルス卒業／ピンクリボン全国準優勝／全国レディース県代表／ベテランJOP優勝／市選手権優勝／県選手権準優勝／ビーチテニス世界国別団体戦U14日本代表 など。

《自分の競技歴》

テニスを始めたのは高校からです。しかも弱小テニス部で全く競技とは無縁でした。さらに大学でも体育会でやっておりましたが、これまた競技を高めたと言うより『社会の縮図』、『人格形成』を学んだと言う感じで、真直ぐに競技テニスと向き合っ取り組んだと言う経験がほぼ無いままこちらの世界へ。高校も大学も指導者と言う存在に触れたことが無く、『テニスコーチ』と呼ばれる、いわゆるプロコーチからテニスと言うものを初めて教えて頂いたのが22歳の時でした。衝撃を受けました。

したがって自身ではジュニアテニスを経験しておりません。本格的にテニス競技と向き合ったのは社会人になってからです。草トーから始まり、一般JOP大会に出始めてから約3年後に勝てるようになってきて日本ランキングの最高位は214位。この頃は市選手権優勝や都市対抗代表選手で単複戦ったりしました。その流れで徐々にレッスンに人気が出てきたことで仕事が忙しくなり、レッスンで試合に出られなくなり徐々に競技テニスからはフェードアウトしました。大会賞金でティファニーの結婚指輪を買えたことが唯一形として残った物です（笑）。試合には出なくなってしまうましたが社会人から本格的に取り組んでも『本人の目標意識』と『地道な積み重ね』があれば試合は勝てるようになることは身をもって体験しました（プロやトップレベルはまた別次元の要素が必要です）。また、自身が勉強してテニスを深く理解し、それらを提供することで生徒さん達に戦績を出してもらえることもわかりました。なので、教え子の方が戦績も良く優秀です！

そして、人としての成長がテニスの成長と繋がっていることやテニスを通じて学んだことが自分の人生に大きく影響していることも理解しました。この経験と理解こそが私の財産です。今後はまた自ら新しい目標を持ち、大会などに参戦して自らのプロデュース力に挑戦してみたいとも思っております。そう言ったことの積み重ねで自身の『オンリーワン人生』に近づけられるよう

自らの指導方針を体現したいと考えております。

まだまだ挑戦の道は続きます！皆様と一緒にその歩みを共有させて頂けましたら幸いです。

《職歴》

小田急藤沢テニスガーデンと言う神奈川県綾瀬市にある地域で40年以上続いている

名門のテニススクールでジュニア育成チームの統括責任者とキャプテンと言う役職（支配人的な役職）を31年間務めました。

現在はフリーコーチとして活動中です。

東京都日野市にある明星大学体育会硬式庭球部の監督兼コーチも務めております。

《お仕事依頼》

随時受け付けております！

「このグループに対して指導してもらいたい」

「個人レッスンをやってもらいたい」

「イベントや企画に協力してもらいたい」

日時、場所、料金などご相談ください。

ご連絡お待ちしております。

